

平成 28 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社 精工技研
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利
 (コード番号 6834)
 問合せ先 管 理 部 長 齋藤祐司
 (TEL. 047 - 388 - 6401)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間 業績予想数値の修正
 （平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,170	480	510	300	32.63
今回修正予想(B)	6,260	656	666	425	46.10
増減額(B)－(A)	+90	+176	+156	+125	—
増減率(%)	+1.5	+36.7	+30.6	+41.7	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	5,904	433	462	252	27.46

2. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正
 （平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,500	830	890	470	51.12
今回修正予想(B)	12,500	900	950	550	59.62
増減額(B)－(A)	—	+70	+60	+80	—
増減率(%)	—	+8.4	+6.7	+17.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	12,182	930	967	550	59.85

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想

第2四半期連結累計期間につきましては、為替が想定以上に円高基調で推移し、海外売上高の減少要因となったものの、車載用成形品の売上が好調に推移し、連結売上高は業績予想を上回る見通しであります。損益面では車載用成形品の売上増加に加え、採算性の良い光伝送装置等の売上が想定を上回ったため利益率が改善し、期初の業績予想数値を大きく上回ることとなりました。

(2) 通期連結業績予想

通期業績予想につきましては、足許の為替動向を踏まえ、次の通り想定為替レートの変更を行います。

1米ドル 100円（期初は1米ドル 110円）、1ユーロ 110円（期初は1ユーロ 120円）、1元 15.5円（期初は1元 17円）。

為替レートの変更による海外売上高の減少に加え、電子機器向けのプレス成形品の需要には停滞感が見られます。しかしながら、北海道千歳市に新設した工場が稼働を開始し、車載用成形品の販売は第3四半期以降も堅調に推移すると見込まれるほか、光接続部品も需要が増加基調にあり、通期の連結売上高は期初の業績予想数値どおりとなる見通しであります。損益面では、プロダクトミックスの改善や原価低減への取り組み等により利益率が改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも期初の業績予想数値を上回る見通しであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上